

学校名	福島県南会津郡只見町立明和小学校
授業者	長谷川 歩美

## 1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

### 1-1. 単元名

川の水をたどって

### 1-2. 学年

第4学年

### 1-3. 教科等（単元を実施する教科等を全てお書きください）

総合的な学習の時間、（社会科・理科・学校行事・・・合科的，関連性をもたせた学び）

### 1-4. 単元の概要

子どもたちは、只見町のよさを「自然が豊かなところ」と答えるが、その「豊かさ」については、漠然としており、本当のよさには気付いていなかった。身近な自然を当たり前捉える子どもたちに、只見の自然の本当の豊かさを学ばせたいと考え、単元を構想してきた。社会科や、尾瀬遠足での体験活動において「水の循環」に関して学びを進め、川の水の源である森林や、ダム働きについて理解してきた。そこから、地域を流れる「伊南川」や「只見川」の水のきれいさにも目を向けた子どもたちに、只見の豊かな森林と川の水の関係、また、そこから海へのつながりへと視野を広げることで、子どもたちは、只見の森林を大切にすることが、川の水を守ることもつながり、そして海も守ることにつながるということに気付くことができた。この学びを通して、よりグローバルな視点をもつことができるようになったとともに、只見町の本当のよさにも目を向けさせることができた。

### 1-5. 単元設定の理由・ねらい

- 只見町の雄大な自然の本当のよさに気付かせる。
- 他地域との比較や視野の広がりをもとに社会の諸問題を考えることを通して、只見町の森林のもつ価値や魅力に気付かせるとともに、地域理解を深めさせる。

### 1-6. 育みたい資質や能力、態度

- 水の循環に関するこれまでの学習を総合し、川と自分たちの生活の関係性を確かめ、水で地域がつながっていることを理解する力（知識及び技能）
- 只見町を流れる川の道筋を意識しながら、地域の自然について調べることを通して、川の水質と森林の関係性に気付いたり、地理的な視野を広げて新たな問いを見い出したりする力（思考力・判断力・表現力等）
- 只見町の豊かな自然について理解を深めることを通して、地域のよさを実感し、ふるさとに対する愛着や地域の一員としての意識の高まり（学びに向かう力・人間性等）
- 川の道筋をたどる中で、同じ川の水を使っている意識及び自分だけではなく、他者のことも考えた環境保全に対する意識の高まり（学びに向かう力・人間性等）

1-7. 単元の展開（全34時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 ～ 7	◎ 尾瀬散策（詳しくは学習内容報告書1を参照） <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 遠足の計画を立てる。</li> <li>○ 尾瀬遠足に行く。</li> <li>○ 活動を振り返り，次々からの学習への意欲を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ それぞれの興味関心に応じたためあてを立てられるように助言・支援する。</li> <li>○ 動植物ガイドマップを基に，尾瀬に生息する生物を知る。</li> <li>○ 水の循環について，改めて学習することで，今後に向けた学びのきっかけとさせる。</li> <li>○ 発見・比較等の活動を通して振り返りをするこ とで，学びを深めさせる。</li> </ul>
8 ～ 12	◎ 癒しの森散策 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 只見町のブナ林について実際に観察したり，さわったりすることで，理解を深めるとともに，その豊かさを実感する。</li> <li>○ 散策してきたことを振り返り，気付いたこと や考えたこと，これからどうしていきたいか等について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ガイドに説明を受けながら散策することで，ブナ林の規模や特徴，歴史等について理解を深めさせる。</li> <li>○ 学んだことを振り返る際は，尾瀬遠足を想起させることで，学びのつながりを図っていく。</li> </ul>
13 ～ 22	◎ 伊南川の水質調査 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 水質調査の計画を立てる。</li> <li>○ 水質調査をする。</li> <li>○ 結果を考察し，森林と川の水の関係性を考 える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「阿賀川 川の達人の会」の方を講師として招聘し，安全かつ効果的な調査を実施する。また，伊南川の水質の良さの要因を聞くことで，理解を深めさせる。</li> </ul>
23 ～ 34	◎ 「森林」，「川」，「海」とのつながりと環境保全 <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 只見町の自然の豊かさを再度振り返る。</li> <li>○ 伊南川の水質の良さを只見町の自然と関連付ける。</li> <li>○ 只見町の自然を守ることの意義を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 尾瀬遠足や癒しの森散策，身近な自然等について振り返ったり，社会科で行った浄水場見学で学んだことと関連付けたりさせることで，只見町の自然の豊かさを想起させる。</li> <li>○ 只見町の自然を守ることの意義について，それぞれの体験や経験，思い等多面的な視点で考えさせる。</li> </ul>

## 2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

### 2-1. 単元における位置づけ

単元  時間中の  時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

### 2-2. 本時の目標

これまでに学んできたことを視点として、只見の豊かな自然と伊南川の水質の良さの関係性を考える活動を通して、自分たちの住む地域のよさを実感することができる。

### 2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p>1 尾瀬，癒しの森，伊南川での学習を振り返る。</p> <p>2 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">伊南川の水はなぜきれいなのかな。</div> <p>3 考えを伝え合ったり，共有したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ グループ           <ul style="list-style-type: none"> <li>尾瀬・・・尾瀬沼 合併処理浄化槽</li> <li>癒しの森・・・ブナの木</li> <li>浄化センター・・・地下水 微生物</li> </ul> </li> <li>○ 全体           <ul style="list-style-type: none"> <li>尾瀬・・・尾瀬沼 合併処理浄化槽</li> <li>癒しの森・・・ブナの木</li> <li>浄化センター・・・地下水 微生物</li> </ul> </li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水温が上がらない（木の影）</li> <li>・ ろ過</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまでの学び（伊南川の水質調査や只見の自然，尾瀬散策，浄化センター見学等）を，写真を基に振り返り，学習してきたことを想起させたことで，川の水質の良さと只見の自然の豊かさのつながりを意識できるようにさせた。</li> <li>○ 伊南川の水質調査の結果に学びの中心を焦点化したことで，森林の機能と川の水の関連を図りやすくさせた。また，川のつながりを意識させたことで，地理的な広い視野で，水質の良さについて，多面的に考えることができるようにさせた。</li> <li>○ 前時までの学習の振り返りを視点（尾瀬散策・癒しの森散策・浄化センター見学等）として整理し，それを基に焦点化した伝え合いができるようにさせた。その際，どうしてそう思うのか問いかけたり，思いを問い返したりしたことで考えの根拠を明確にさせていった。</li> <li>○ 小グループでの伝え合いを行った際は，自分の考えを確認させたり，気付きを友達と比較させたりするような言葉かけをしたことで，自分の考えをみんなに広めたいという意欲をもたせることができた。</li> <li>○ 全体での話し合いでは，整理した視点に沿って子どもの思いや考えを伝え合ったり共有したりさせていった。その際，森と水が関連した話題には特に焦点をあてて，全体に広めたり，より深い根拠を問い返したりしていくようにした。</li> <li>○ 伊南川の水質の良さの因果関係に地理的に直接つながらない考えも取りあげたことで，より広い視野から川の水と森林のつながりを考えることがで</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>ミネラル。</li> </ul> <p>4 過去の伊南川や下流域である阿賀野川の状況を知り、只見の自然を守っていくことについての新たな問いをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 川がきれいなのは森のおかげでもある。</li> <li>○ これからも森を大切にしたい。</li> <li>○ 自分たちにできることは？</li> <li>○ 只見町以外でも環境の変化はあるのかな？</li> </ul>	<p>きるようにさせた。</p> <div data-bbox="810 210 1466 322" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価 川の水と森林のつながりを理解し、只見町の森林の豊かさやよさに改めて気づいているか。(活動の様子、ワークシート)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 只見町に生息する魚の数の変化について考えさせたことで、長年守られてきたことやこれから守っていかなければならないことについて新たな課題をもつことができるようにさせた。その際、伊南川の水域の地図を掲示しておいたことで、上流から下流までの広い範囲から森林の大切さを意識できるようにさせた。</li> </ul>
--	---

### 3. 今回の活動の自己評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他教科領域の学びを単発で考えるのではなく、例えば、社会科の「川の水の働き」の学習や理科の「自然の中の水のすがた」の学習、また、学校行事として行った「尾瀬遠足」等々を関連付け、教科横断的に総合的な学習の時間を位置付けた。そのことにより、子どもたちの興味や関心は高まり、当初予定していた時数を終えても、「もっと調べたい」「総合が楽しい」といった子どもたちの声が多く聞かれ、自分事として取り組んだ姿が見られたことが大きな成果である。また、校内でも、只見町の自然のよさを伝える活動を本校の学習発表会に位置付けたり、水を大切にしようと思える姿を見せる姿が増えたりしたことから、単元全体の大きなねらいである「地域のよさの実感」「自然保護の重要性の理解」も達成できたと考える。</li> </ul>
---

### 4. 今後の課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本単元で学んだことの意義や成果は大きい。今後は、学んだことを次年度の学習にどう関連付けるか、またどう生かして新学年の総合的な学習の時間の単元構想をしていくか、引継ぎを含めて考えていく必要がある。また、育みたい資質や能力を考えたときに、どの姿を通して育まれたかどうか、多面的な視点で子どもたちを見取っていく必要がある。そのためにも、具体的な姿を想定していくことが大切になると考える。</li> </ul>
--

### 5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 森林が豊かな只見町だからこその海洋教育であり、「海」を視点として「只見町」という地域を見つめた学習である。そのため、山間部における海洋教育の在り方の一つの参考としてほしい。</li> </ul>
--

※実施した単元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝，10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm，左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書\_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書\_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してくだ